

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【公開番号】特開 2019-180728 (P2019-180728A)
 【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-043
 【出願番号】特願 2018-74531 (P2018-74531)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 29 日 (2019.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、特定表示結果が導出されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

いずれの設定値に設定されているかを確認可能な設定確認状態に制御可能な状態制御手段と、

遊技機が前記設定確認状態に制御された旨を報知する状態報知手段と、

遊技媒体が所定領域を通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結果を導出する普通可変表示手段と、

普通識別情報の可変表示の実行期間を計時する普通可変表示計時手段と、を備え、

前記普通可変表示計時手段は、普通識別情報の可変表示が開始されてから終了するまでの間に前記設定確認状態に制御されたときに、該設定確認状態が終了するまで前記実行期間の計時を停止し、該設定確認状態が終了したときに前記実行期間の計時を再開する、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、複数の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、設定値を確認するための設定確認処理では、実行中のメイン処理が全て終了したときにしか次の処理へ移行できなかった（例えば、特許文献 1 参照）

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2010-200902号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、特許文献1のような遊技機の場合、設定確認をすぐに行いたい状況のときに、実行中の全ての処理が終わるまで待たねばならず、好適に設定確認作業を実行することができなかった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、好適に設定確認作業を実行することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記課題を解決するために、本発明の遊技機は、識別情報の可変表示を行い、特定表示結果が導出されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者にとっての有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

いずれの設定値に設定されているかを確認可能な設定確認状態に制御可能な状態制御手段と、

遊技機が前記設定確認状態に制御された旨を報知する状態報知手段と、

遊技媒体が所定領域を通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結果を導出する普通可変表示手段と、

普通識別情報の可変表示の実行期間を計時する普通可変表示計時手段と、を備え、

前記普通可変表示計時手段は、普通識別情報の可変表示が開始されてから終了するまでの間に前記設定確認状態に制御されたときに、該設定確認状態が終了するまで前記実行期間の計時を停止し、該設定確認状態が終了したときに前記実行期間の計時を再開する。

このような構成によれば、設定確認をすぐに行うことができるとともに、設定確認状態において普通識別情報の可変表示が実行されて遊技が進行してしまうことにより遊技者が不利になってしまうことを防止し、好適に設定確認作業を実行することができる。